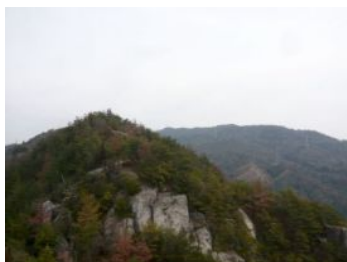


2 2 . 安芸郡府中町最高峰

高尾山 (424.2m)

安芸郡府中町/広島市東区



やまぼうしが初日の出山行をする岩屋観音の北東にそびえる山。広島市東区温品町との境にあり、南麓は水分峡谷。

安芸郡府中町	2017,4,1 推定
<面積>	10.41 km ²
<人口>	51,152人
<人口密度>	4,910人/km ²

【山行日】1月1日(月) ☆天候：晴れ

【参加者】15人 CL三浦美雄子 SL宮木一民

中島(恵) 中島(美) 得本 原田 滝 小山 中野 越知 福田 宮木(澄) 若木(小)
三浦(会友) 三浦(会友)

【コースタイム】

城ヶ丘バス停 5:35→城ヶ丘公園(トイレ、ストレッチ)→7:00 岩屋観音寺跡地→7:10
岩屋観音→7:25 高尾山 7:40→8:00 岩屋観音寺跡地 (お雑煮) 9:00→水分峡分岐→
水分峡入口→10:00 城ヶ丘バス停

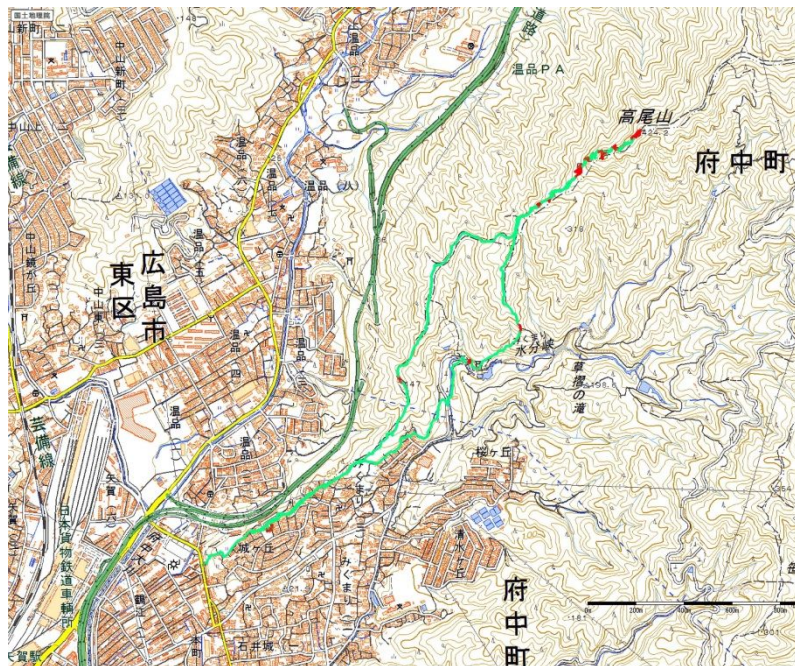
【報告】

安芸郡府中町最高峰 高尾山 (424.2m) 登頂!!

恒例の初日の出山行で高尾山に登りました。例年は岩屋観音で初日の出を迎えるのですが高尾山が府中町最高峰なので二手に分かれ、一隊は岩屋観音でもう一隊は高尾山で初日の出を迎えました。風もなく穏やかな元旦でしたがあいにくお日様の昇る方向に大きな雲が立ちほだかり残念ながら日の出を拝むことは出来ませんでした。しかし岩屋観音寺跡地ではお雑煮やお神酒を大いに楽しみました。お雑煮もお酒ももう駄目!というぐらい・・・満腹!満腹!持ち寄りの料理やお菓子もたくさんいただきました。越智さんや福田さんの新入会員さんも

参加されあれやこれやと話もとてもはずみました。

(記 宮木一民)



2018年の初日の出は残念!

雲にさえぎられた・・・



高尾山の麓に水分神社がある。

水分神社は水分神(みくまりのかみ)を祀る神社で、「くまり」は「配り」の意味があり、水源地や水路の分水点などに祀られる。水にかかわる神ということで祈雨の対象にもされ、また、「みくまり」から「みこもり(御子守)」と意味が広がり、子どもの守護神、子授け・安産の神としても信仰されるようになったとのこと。全国いろいろな所に「水分」という地名はあり、神社も置かれている。

府中町のHPには、「貞観元年(859年)に従五位下を授けられた安芸国水分天神の名残りと考えられ、鎌倉時代の古文書にも国に年貢を納めなくてもいい『免田』が認められているなど古い歴史を持つ神社です。主祭神は天之水分神です。」と紹介してある。今は小さな社の神社だが大きな神社だったのだろうか？

安芸の府中町は元は広島湾に臨む地で、東側は御山荘山(呉婆々宇山)を主峰とする小山脈が南北に走り、南側は小山地が多い船越村、北側はやや平地が開けた温品村に接していて、中心をなす平地はわずか。細長い丘陵地で、すぐ海岸になっていたのではないと言われる。このような狭い地に政治文化の中心地があったのだろうか。安芸国の国府跡を求めてこの地は何度か調査されているが、河川の度々の氾濫跡が見つかり、地割りは随分変わっているようである。あの地に水分神社が置かれたのは、人々が洪水に悩まされたからかも知れない。また、府中町には、水分を水源とする「今出川清水」、「鹿籠清水」、「出合清水」の湧水泉が今も残されている。神水としてだけでなく生活用水として使用されていたようだ。洪水を引き起こすが水を供給してくれる大切な地として、府中の人たちは“水分”を敬ってきたのであろう。(参考：安芸府中町史 昭和50年)



安芸郡府中町最高峰山頂で

1月1日 午前7時25分！！



今までやまぼうしで登った安芸郡府中町の
他の山

岩屋観音